

令和7年2月28日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」 第98回（通算第177回）定例会 会議録

◆日時：令和7年2月18日（火） PM7：10～8：50
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
◆出席者：30名 +オンライン11名
別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：10～20：50】

19：10～

開 会

19：10～20：00

研修「知ってください 私たちの専門性について」

① 皮膚・排泄ケア認定看護師

講師：訪問看護ステーションたいよう 芝 美佐子氏

② 緩和ケア認定看護師

講師：訪問看護ステーションたいよう 栄土 真由美氏

20：00～20：50

意見交換と発表

20：50

閉 会

【研修内容】

○認定看護師とは

- ・日本看護協会の認定資格
高度化、専門分化が進む医療現場で。水準の高い看護を実践できると認められた看護師
5年以上の看護経験と600時間以上の認定看護教育を修了し、資格試験に合格した看護師
2021年から特定行為研修追加（B過程）され、特定交付研修未修了（A過程）と2過程共存
→B過程：19分野（皮膚・排泄ケアはこちら）、A過程：21分野（緩和ケアはこちら）
5年ごとの更新審査を受け、資格を維持している
- ・どんな活動をしているか
「実践」「指導」「相談」

○認定看護師とは

- ・認定看護師と特定看護師の違い

特徴	認定看護師	特定看護師
取得方法	日本看護協会が認定する専門的な研修を修了	特定行為にかかる看護師の研修制度を修了
資格等	日本看護協会が認定する専門的な資格	法律上「特定看護師」という資格はない
主な役割	特定の看護分野で専門的な知識と技術を提供	特定の医療行為を実施
実践できる行為	従来 of 看護業務のみ	医師の指示を待たずに特定の医療行為を実施
認定機関	日本看護協会	厚生労働省の指定研修期間

- ・和歌山県の登録者数（2023年12月現在）

A過程：159人/20,350人（和歌山県/全国）

B過程：34人/3,745人（和歌山県/全国）

皮膚・排泄ケア認定看護師は西牟婁圏域に5人、緩和ケア認定看護師は3人

- ・全国的には60%が病院に。訪問看護ステーション19%、クリニック・診療所7%、施設5%

○皮膚・排泄ケア認定看護師について

- ・皮膚・排泄ケア認定看護師とは、WOCの領域：

W (Wound) 創傷、O (Ostomy) ストーマ、C (incontinence) 失禁

この3領域についてのコンサルテーションを実施

- ・在宅褥瘡予防・ちり用におけるWOCの専門技術

予防：リスク患者の同定とケア計画、体圧管理、スキンケア

治療：創部のアセスメント、創部の局所環境管理、褥瘡部処理

- ・専門性の高い看護師との同行（同一日）訪問

→契約している訪問看護ステーションの看護師と、認定看護師等の専門性の高い看護師が同行訪問したときに、診療報酬の算定が可能。

○緩和ケア認定看護師について

- ・緩和ケアとは

重い病を抱える患者やその家族一人ひとりの身体やこころなどの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を追うことができるように支えていくケア

- ・緩和ケアが重視していること

苦痛へのアプローチ、QOLの向上、全人的ケアの実践

- ・緩和ケア認定看護師の役割

症状コントロール（痛み、呼吸困難、悪心嘔吐、倦怠感、腹部膨満感、せん妄など）

精神的支援（不安、抑うつ、怒り、睡眠障害など）

意思決定支援

終末期の諸問題への対応、鎮静

看取りのケア、家族への支援など

- ・「患者一人一人の尊厳を尊重し、最後の時まで“生”に焦点を当てる」

【意見交換】

○訪問看護に期待すること

- ・専門性の高い看護師との同行訪問についてももう少し詳しく教えてほしい

→特別な指示所は必要なく、在宅主治医の許可程度。月に1回。同行訪問以外でも相談にはのれる

- ・認定看護師が地域のどこにいるのかの情報を広めていくことが大切

- ・優しい看護師さんがいっぱいいてほしい

- ・顔が見える関係を続けていきたい

- ・訪問看護の大規模化が言われている。小規模事業所で若い看護師も多いが、質の担保が同じであってほしい
 - 同じ思いをもって一緒にしていくことが質の向上のためにも大切。
 - 人数が少ないと限られたケアしかできなくなる。
 - みんなで情報交換をしながら仲良くやっていく。それが地域のレベルアップに。
- ・田辺・西牟婁圏域は地域が広い。遠方では来てもらいにくい現状がある。はいつてもらいや水仕事みがあるといい
- ・スピリチュアルペインは共感的態度が重要
- ・初めてサービスを利用する人がどう訪問看護を選ぶのか。選び基準は本人の生活拠点に近い地域、優しい名前などいろいろあるだろうが、訪問看護ステーションの特色がわかるようなリストがあるといい
- ・認定看護師資格取得について。病院側は研修に行ってもらうのも大変。その人に辞められるのもつらい。それでも育てないと頑張っている。それで看護師の質が上がる。
- ・認定看護師の認知度がまだまだだと感じる
- ・「情報の差が判断の差」という言葉が“なるほど!”と思った
- ・使えるサービスの地域格差が少なくなるようにしていく必要があると思った
- ：在宅側と病院側の連携も重要！

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和7年3月18日（火） 午後7時～

場所：田辺市医師会館 3F 大講堂

講師：和歌山県 遠藤課長 に依頼中